

## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2019/05/01～2019/05/31)

### 1. 勉学の状況

5月は前期の授業期間の最終月だったので、とにかく課題に追われた1ヶ月でした。今期私が履修していた授業は3つだけだったのですが、その3つともでエッセイの課題が出されました。それぞれ授業内で大きなテーマが提示され、そのテーマに対して直接「はい」か「いいえ」で答えた上でその理由を連ねていくものから、その大きなテーマに沿って各自でさらに細かなテーマを設定した上で書くものまでありました。ただ、それぞれの授業で出されるテーマの範囲の広さにはばらつきがあり、ものによっては自身の興味分野に全く被らないものもあったので、そのエッセイに取り組むときが一番大変でした。ただ、今期の授業は大学に入学して初めて1年生が受講する授業ばかりだったので、エッセイ本稿に取り掛かる前にエッセイのアウトラインを添削してもらう時間がどの授業にもあったので、そこでアドバイスを貰った上で課題に取りかかることができたので、とても助かりました。一方で、エッセイによっては引用する参考文献の最低数が決まっているものもあり、資料探しにとっても苦労しました。大学の図書館のホームページで簡単に文献を探ることができ、さらに学生用アカウントでログインすればほとんどの資料が学内外問わずどこでもインターネット上で閲覧できるのは便利だったのですが、どんな単語で検索すれば自分が求めている文献を見つけられるのかが分からないなど、やはりここでも英語だからこそ感じる困難がありました。そんな時は、現地の友人に事情を説明して、自分が書いているエッセイの内容や求めている資料についての詳細を教えた上で、どのように資料を探した方が良いか相談しながら、文献探しを進めていきました。そんな友人の助けもあって、無事3つ全てのエッセイを締め切り前に提出することができ、今はホッとしています。授業も全て終わったので、あとは6月末にあるテストに向けての復習に専念するだけです。

5月で全ての授業が終わったのですが、今回は前期の授業全体を振り返って思ったことを書いていこうと思います。第一に反省したことは、何か困っていても素直に周りに助けを求めなかったことや、他の学生たちとの相互的なやりとりができなかったことです。一番大きかったのは英語のやりとりで感じる苦労で、相手が先生でも学生でも、イマイチ言っていることが分からないな、と思っても早合点をして話を終わらせてしまうことがよくありました。そのせいであまり深いところまで議論をすることができなかつたり、こちらに聞きたいことがあっても聞けずじまいであったりなど、悪いことばかりでした。しかし、「そんなことも分からないの?」と思われることを恐れ、無駄に意地を張って誰にも頼らずに自分だけで解決しようとしている自分の気持ちとの折り合いをつけることも難しく、遅すぎるのですが、正直に助けを求められるようになったのは今月になってやっとのことでした。ありがたいことに、こちらが素直に助けを求めれば、全員とは言わずとも、ほとんどの人が助けてくれました。例えば、エッセイのアウトラインのピア

レビューでは、本来であれば口頭で自分のアウトラインの内容を紹介し、口頭でアドバイスをもらう、という形式だったのですが、自分はアウトラインを紙に印刷して持って行き、英語が下手な自分が口頭で説明しては時間がかかりすぎてしまうのでこの紙を読んでアドバイスが欲しい、とグループの人に正直に伝えました。すると、グループのみんなは紙に目を通し、ゆっくりとした口調でアドバイスをくれました。そのあと先生がグループを見て回っているときに私のアウトラインにもアドバイスをくれたのですが、先生の行っている内容が分からず私がパニックになってしまった時も、グループのうちの一人が私にその内容を書き取っておいたメモを渡してくれて、なんとかそのアドバイスを自分のエッセイに生かすことができました。この時は助けてもらって嬉しい気持ちも勿論あったのですが、逆に自分がその子たちのために何もできなかったことが悔しくて、しばらく落ち込んでいました。ただこの経験が、私が初めてちゃんと周りに助けを求め、そして周りの人たちがそれに答えてくれたものだったので、自分の心を整理できる一つのきっかけになりました。一時期、何度か続けて授業内などで嫌なことが続いて精神的にきつい時もありましたが、助けてくれる人は必ずどこかにいるのだなと思い直しました。そして、その人たちに気がついてもらうためには、自分から声を上げることも時には必要なのだと痛感しました。次のセメスターでは、自分で解決できることは自分で対処しつつ、時には頼りっきりにならない程度に周りに助けを求めながら、そして自分も誰かの助けになりながら、学習を進めていければ、と考えています。



勉強の合間に市街で食べたうどん ちゃんと日本の出汁の味で美味しかった  
横にあるのはカニクリームコロッケと椎茸の天ぷら

## 2. 生活の状況

先述の通り、今月は課題に追われて忙しかったこともあり、中旬にとうとう体調を崩してしまいました。時々授業も休んでしまい（その時点で出席日数は既に足りていたのに単位取得に影響は出ないものでしたが）、体調がすぐれない中で締め切りギリギリまでエッセイに取り組む、という辛い日が続いていました。ベッドから動けない日もあり、食料が尽きかけた日には「死ぬかもな」と本気で思いました。恐らく原因は単純に食生活の乱れで、元々食にそこまで興味が無く、日本にいた時から不摂生な生活を送っていたところに心当たりがありました。体調が回復してからには、食生活により気を使うようにしています。心身共に健康でいることの大切さを改めて痛

感じました。

また体調を崩したことに加え、寮の騒音も大きなストレスの一つです。もうこれに関しては誰に相談しても無駄だということが分かりました。エッセイの締め切りに追われていてかなり疲れが溜まっているにも関わらず、真下の部屋に住人が夜遅くに騒ぎ出して眠れなかったり、廊下で他の住人が大声でおしゃべりをしていたりして、その騒音のせいで眠いのに眠れず、気が狂いそうでした。職員に相談しても「うるさくなったら直接こちらに個人的に電話をしてくれ」と言いましたが、電話をしても直ちに出て対応してくれず、それから決定的な対策を取ってくれません。アシスタントの人は協力的で、私と同じように学生のため期末で忙しいにも関わらず、相談した時にはうるさくしている住人のところに行って注意をしに行ってくれましたが、その当該の住人が、注意をされた直後は静かになっても、しばらくすればまたうるさくなるので、あまり効果が無いようです。今はテスト以外の課題が全て終わり、こちらにも心の余裕が出てきましたが、次のセメスターも同じようにストレスを感じた学校生活を送りたくはないので、別の寮に移ることを考えています。希望通りに行くことは保証できないと言われましたが、一応寮の移転希望届は出し、今のところは結果待ちです。



大学構内には色々な国の料理の店がある  
写真はマレーシア料理のファストフード店で買ったロティ